

米国・カナダの社会科教師にオンライン上で活動を紹介 —全米社会科協議会バーチャル総会に参加—

2020年12月4日～6日



経済広報センターは、毎年秋に行われる全米社会科協議会（NCSS）年次総会において、展示会場にブースを設置している。また、特別セッションにより当センターの「北米社会科教師招聘プログラム」への参加者を募集するとともに、これまでに招聘した教師（フェロー）や現地の日系企業関係者らを招いたレセプションを開催してきた。

2020年の総会は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、12月4日から6日にかけてバーチャルで開催された。このことを受けて、当センターはバーチャルブースを設置し、全米日米協会連合会（NAJAS）やフェローの協力を得て、オンラインによる特別セッションにおいてビデオを交えた招聘プログラムの説明（実施については、あくまで新型コロナの沈静化が前提とも言及）や質疑応答を行い、参加者を募集した。

今回のバーチャル総会には、米国・カナダ各地から中学・高校の社会科教師や大学の教員などが多数参加した。当センターのバーチャルブースでは、フェローによるレポートや写真、動画を利用して招聘プログラムの内容を紹介するとともに、Society 5.0など経団連の取り組みについてもPRを行い、約100名からのアクセスがあった。

バーチャルブースは4月まで閲覧可能であり、新型コロナの状況も踏まえ、今後も情報をアップデートしつつ、ブース訪問者や特別セッション参加者とも連絡を取り、招聘プログラムへの正式な応募を促していく予定である。

以上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。